

※今年度の開催と参加者数

5月16日	北島団地公民館	64名
6月20日	池端公民館	181名
7月11日	各務福祉センター	76名
8月22日	須衛公民館	109名
9月19日	東部公民館	76名
10月17日	温井公民館	60名
12月19日	西組公民館	57名
1月16日	山の前公民館	67名
2月20日	会本公民館	(72名) *昨年数
3月19日	おがせ公民館	(62名) *昨年数

子どもからお年寄りまで様々な世代が集まって、いろいろなイベントをしながら交流を図る恒例の催しです。
今年度は「おがせ池龍女ものがたり」の紙芝居やバルーンアート、皿回し、ビンゴゲーム等を行っています。

地域ふれあい広場 公民館でにぎわい



みんなで元気に合唱

地区社協り
だより

村国の郷

第42号
編集・発行
各務地区社会福祉協議会

ぼくは毎年ふれあい広場に参加しています。今年は、初めて紙しばいがありました。知らない地名や分からない言葉がたくさん出てきて、ちょっとむずかしかったです。毎年楽しみにしているビンゴゲームでは、なかなかビンゴにならなかったのほしい景品はなくなってしまったけど、ビンゴになるまでのドキドキ感が味わえました。
各務小5年 あだち りゅうく

はじめに紙しばいをみました。かみなりの音を出したり、マイクで登場人物の声をひびくようにしてたりして、びっくりしました。次にバルーンアートで、犬と剣を作りました。作り方が分からなくて手がとまっていたら、係のおばさんがやさしく教えてくれたので完成し、うれしかったです。
各務小4年 足立 真紀

10月、船山東と温井の自治会合同での地域ふれあい広場が開催されました。小さな自治会ですが60名もの参加者があり盛況でした。地域の皆さんとゲームなどを楽しみながら交流が出来、あっという間の二時間でした。来年も孫を連れて参加したいと思います。
温井常会長 佐高 邦夫



バルーンアート

一年を振り返って

各務地区社会福祉協議会 会長 澤井 安直

平成二十七年度も終わろうとしています。皆様のご協力のおかげで、年度初めに計画した事業がほぼ滞りなく実施できたことに感謝申し上げます。

今年度はプロジェクト「歴史で広がる郷土の福祉」を立ち上げて、これまでに様々な経験ができた一年だったように思います。地域のことをもっと知るつ、みんなにも知っていただきたいというのがプロジェクト発足の原点でしたが、進めば進むほどに奥の深さを感じております。今年度は「おがせ池龍女ものがたり」の紙芝居を地域ふれあい広場などで上演し、たくさんの方にご覧いただきました。また、「男依音頭」をおがせ池夏祭りや村国の郷ふれあいの集いなどで踊ることが出来ました。今後も、地域の歴史や文化の掘り起こしをしながら、様々な取り組みを行っていく予定です。

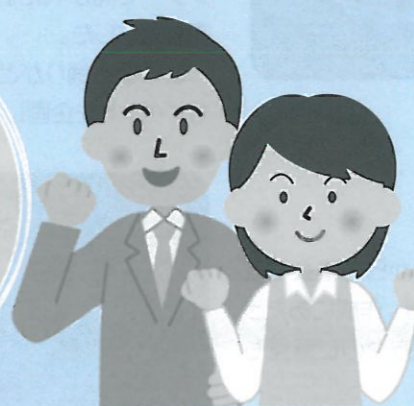


各務がますます活気ある地域になりますように、これからも協力の程宜しくお願い致します。
連絡先 090-8336-2091

生活上の困りごとをご相談ください

もうひとりで
悩まないで

- ◆夫が認知症で介護がたいへん
◆成年後見制度について知りたい
- ◆子どもが不登校ひきこもり
◆家族から虐待を受けている
- ◆収入が不安定で生活に困っている
◆借金を整理したい家計の相談
- ◆障がいがあるが働きたい
◆病気になって働けなくなった



あなたに寄り添い支援します

各務原市社会福祉協議会
生活相談センターさぽーと
☎ 058-383-7610

「歴史で広がる郷土の福祉」プロジェクト進行中!



スクリーンに映しての上演

★紙芝居

今年度は、おがせ池に伝わる龍女伝説の紙芝居を地域ふれあい広場や各地区の集会で披露しました。大安寺や慈眼寺に伝わる龍女のものがたりを紙芝居にしたものです。八木山や緑苑など鶴沼地区からも上演依頼があり、これまでの上演回数は計17回に上ります。6月の池端公民館での上演では、複数の新聞社から取材があり、新聞掲載されました。(記事は、ネット検索「おがせ池龍女」でご覧いただけます。) 来年度の題材は村国神社に祀られている「村国男依」です。飛鳥時代、壬申の乱において大海人皇子(後の天武天皇)側で戦って大活躍した将軍のお話です。

そして、再来年度には美濃須衛窯の「須恵器」を取り上げる予定です。ご期待下さい。



池まつりで初披露

★健康体操、認知症予防体操

男依音頭の歌に合わせた体操を、来年度から各集会などで使っていただけるよう作成してまいります。作成にあたっては、認知症予防の専門家や体操に詳しい方々のご意見も取り込んでいく予定です。

今年度立ち上がった3ヶ年計画の標記プロジェクトが進行中です。

地域の歴史や文化を学んで地域への愛着や誇りを高めること、またこれらを題材にした健康体操で健康づくりをすること、そして交流を図りつつ顔が見える関係づくりをすることが目的です。



男依音頭講習会

★男依音頭

江南市では数年前から村国男依の歌や男依が盛んです。(男依の時代、江南市の一部も村国郷でした。) 各務でもこの歌と踊りを取り込みたいと6月に江南から講師を招いて、各務福祉センターで男依音頭講習会を開きました。そして、7月のおがせ池夏祭りや11月の村国の郷ふれあいの集いで、それぞれ大勢の皆さんが歌と踊りを楽しみました。また、踊りの会「中央わらじ会」では、10月に中央ライフデザインセンターで開かれた「クラブサークル発表会」で男依音頭を披露されました。

この歌と踊りがどんどん広がって行くことを願って、今後イベントを企画していきますので是非ご参加ください。



中央ライフデザインセンターで踊る

「第2回村国の郷ふれあいの集い」

各務小体育館で盛大に開催



鶴沼中の吹奏楽

十月七日、「村国の郷ふれあいの集い」が各務小学校の体育館で開催され、およそ七五〇人が来場されました。地域のみなが一堂に集いふれあうことにより、郷土愛を深め活性につなげたいという願いを込めての開催です。今年度は当地域に関係した演目や演者ばかりで構成されました。

まず、鶴沼中学校吹奏楽部の皆さんが迫力ある演奏を聞かせてくれました。昨年八月に行われた中部地区吹奏楽コンクール岐阜県大会での優勝者であつて、素晴らしい演奏が次々に展開されました。この日のために「鶴沼中ヒットパレード in 村国の郷スベシャル」と題した曲目も用意されました。コミカルタッチの曲を交えての演奏には大勢の児童が興奮気味でした。中学校へ行ったら自分も演奏したいと思つた児童もきつといたことでした。



澤井会長挨拶

続いて舞台では星の村の皆さんによるダンスが披露され、生き生きとした動きに拍手が沸き起こっていました。(星の村は各務おがせ町にある施設で、障がいを持つ方々が自立の為に支援を受けながら働いています。) 会場の入口では、星の村の出店販売もあり、授産品である平飼いの卵やボカシなどを大勢の方にお買い求めいただいたようです。*授産品・作業訓練の環境として障害のある方々が作った製品



星の村の皆さんによるダンス



各務小の郷土劇

最後は、歌手 松田敏来さんが白いスーツ姿で颯爽と登場。「男依音頭」三申将軍・村国男依」などの持ち歌を熱唱のち、有志の方々が輪を作つて男依音頭を踊りました。踊った人たちの多くはボランティアハウスの方々です。

次に、各務小児童による郷土劇「村国男依の物語」が上演されました。劇は六年生の総合学習において、郷土の勉強の一環として取り組まれたものです。脚本は男依音頭の作詞作曲や男依の小説を書かれた倉橋寛氏が担当。衣裳は主に小学校職員さんの手作りで、前日の新聞には、練習の様子を取材した記事が大きく掲載されていました。この日、全校児童が参加して見守るなか、みな真剣に演じ切りました。校長先生も児童たちと一緒に目を細めながら微笑んでいらつしたのが印象的でした。



が、中にはイベントを知って遠くから駆け付けた方もいらつしました。皆さん、歌手の生歌に合わせての踊りに楽しんでいただけたようです。



男依音頭の輪